

平成 25 年度「英語活動」教育プログラム事業報告

(自平成 25 年 4 月 1 日～至平成 26 年 3 月 31 日)

平成 25 年度数値目標

1. 実施校数	年間 38 校
2. 講義時間数	年間 2,000 時間

1. 数値目標からの乖離

年度別実績推移 (資料⑤)

	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	目標・予算	25 年度実績	△+
実施校数(校)	31	35	32	37	38	37	△1
講義時間数(時間)	1,660	1,654	1,514	1,807	2,000	1,901	△99
講師料(千円)	10,279	10,114	9,196	10,996	12,400	11,522	△878

支援状況 (16 区市 37 校 新規校 3 校) (資料⑥)

支援校数	市区名
5 校支援	大田区・八王子市
4 校支援	(なし)
3 校支援	中野区・足立区・世田谷区・多摩市
2 校支援	江東区・墨田区・新宿区・練馬区・東村山市・稲城市
1 校支援	板橋区・東久留米市・調布市

2. 「英語活動」教育プログラムの充実化

① 留学生の現場指導強化および学校へのアプローチ強化

<留学生講師の魅力>

- 1) 優れた人間性
- 2) 異文化の力
- 3) 英語力
- 4) 優れたコミュニケーション力

各学校からの留学生講師の評価として挙げられる以上4つの「魅力」をより効果的に引き出すため、平成 25 年度も英語活動アドバイザー(太田美智彦氏・宇津木悦子氏。両名とも中学校英語教育経験者)による現場指導を年間最低2回確保、さらに新人留学生の実習指導も事務局と連携しながらその全てを現場で行った。

また現場での受入態勢に不備のある学校については、各アドバイザーと事務局スタッフで実際に足を運び、管理職教員と話し合いを重ね、改善に努めた。

② 文部科学省および東京都教育委員会との連携

文部科学省初等中等局国際教育課教科調査官と面談。当協会の活動を報告するとともに、「英語」の教科化、「英語活動」の低学年化など教育再生実行会議の提言をうけた国の方針を確認した。

東京都教育庁指導部指導主事に実際に留学生の授業を観ていただく機会を作り、さらに「小学校の英語活動の実際の進め方」と題して、新人留学生講師講習会において講演実施。

③ 留学生講師の確保・新人留学生講習会の充実化

22 か国からの 25 人の新人留学生を採用することができた。今回は英語講師の面接の際、同時に異文化講師としての資質もチェックしたことにより、この中から珍しい国・地域を中心に 4 名の留学生を異文化の面接免除で紹介できた。

また新人への研修（講習会）では、平成 25 年度も先輩講師によるモデル授業を現状に即した形で二種類実施。特に初回授業で要望の高い「自己紹介・自国紹介」について、新人留学生がよりイメージしやすいよう工夫した。

3. 平成 26 年度の体制

平成 26 年度は新人講師 25 名を登録（うち 9 名が異文化プログラムとの兼任講師）、69 名体制。35 校の支援が既に決定しており、4 月から 6 月にかけて順次活動をスタートさせていく。

<平成 25 年度 事務局 英語担当>

常勤事務職員 1 名 （事業計画・予算管理・学校との折衝・講師指導・対外活動）

常勤事務職員 1 名 （事務および経理処理） ※H25 年 12 月より それまでは非常勤職員

英語活動アドバイザー 2 名（中学校英語教師経験者） 形態： 業務委託契約

以上